

# チャペル週報

No. 6

2014. 5.12～ 5.16

春季宗教運動特集号

復讐してはならない。

民の人々に恨みを抱いてはならない。

自分自身を愛するように隣人を愛しなさい。

(レビ記19章18節)



西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

5月12日(月) 神 河 田 俊 郎 (神学研究科M2)

経 舟 木 讓 (宗教主事)

人 梓 川 一 (人間福祉学部准教授)

聖和 聖書物語「エジプトに行ったイスラエルの家族」

理 村 瀬 義 史 (総合政策学部宗教主事)

---

5月13日(火) 大学合同チャペル「総主題：建学の精神」10:20～11:20

西宮上ヶ原キャンパス 会場：B号館101号教室

「感謝」への「感性」舟 木 讓 (大学宗教主事)

西宮上ヶ原キャンパス 会場：G号館IS棟303号教室

「神の都を求めて」Ruth M. Grubel (院長)

西宮聖和キャンパス 会場：メアリー・イザベラ・ランバスチャペル

「関西学院 歌声のキャンパス」田 淵 結 (宗教総主事)

神戸三田キャンパス 会場：VI号館101号教室

「世界の潮流と“Mastery for Service”」村 田 治 (学長)

---

5月14日(水) 大学合同チャペル「総主題：建学の精神」10:20～11:20

西宮上ヶ原キャンパス 会場：B号館101号教室

「世界の潮流と“Mastery for Service”」村 田 治 (学長)

西宮上ヶ原キャンパス 会場：G号館IS棟303号教室

「風、光、力」小 菅 正 伸 (副学長)

西宮聖和キャンパス 会場：メアリー・イザベラ・ランバスチャペル

「感謝」への「感性」舟 木 讓 (大学宗教主事)

神戸三田キャンパス 会場：VI号館101号教室

「神の都を求めて」Ruth M. Grubel (院長)

---

5月15日(木) 神 梅 崎 須磨子 (神学研究科M1)

文 Andreas Rusterholz (宗教主事)

社 “KG Spirit”とは⑤ 小 川 晃 司 (保健館事務長)

法 ボランティア活動の奨めI NPO法人かめのすけ

経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)

商 音楽チャペル 聖歌隊

国 English Chapel 高 阪 章 (国際学部教授)

聖和 「音楽の贈り物」Fresno Pacific University Choir

総 小 池 洋 次 (総合政策学部教授)

---

5月16日(金) 院 山 本 俊 正 (商学部宗教主事)

神 トーンチャイム隊による音楽礼拝

文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)

経 舟 木 讓 (宗教主事)

人 村 上 陽 子 (人間福祉学部准教授)

聖和 「愛することを学んでいこう」村 瀬 義 史 (総合政策学部宗教主事)

理 グリークラブ

---

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

5月13日(火) 宗教運動のために

小 川 晃 司 (宗教活動委員会委員長)

5月16日(金) 司法研究科のために

松 井 幸 夫 (司法研究科長)

---

# Seeking the “City of God”

Ruth M. Grubel

128 years ago, Mary and James Lambuth, their thirty-two year old son, Walter, and his wife Daisy, were informed by their mission board in the U.S. that they would be sent from China, where they had served for many years, to begin new mission work in Kobe, Japan. They decided to take advantage of Kobe's many merits, such as its being a treaty port with good transportation and communication with the outside world. It was also at the center of a new railroad line, and the climate was very pleasant. At that time, Kobe was the fifth largest city in Japan, with a population of over one hundred thousand people.

Most of the Western residents of the foreign concession in Kobe were either involved with the business of trade or with Christian mission work. There was a very closed society of Western businessmen and their families, who tried to duplicate in Kobe the lifestyle of their home countries. However, the missionaries did not fit into that society. Instead, they met with the Japanese citizens of Kobe and the surrounding areas, holding worship services, Bible studies, language classes, and eventually established our school, Kwansai Gakuin. The Lambuths were eager to work with the local people, and wanted to help to nurture young people who could be responsible to create a better future for Japan. Rather than yearning for their home countries, the Lambuths and their colleagues were seeking to do God's work wherever they were sent.

(院長)

# グローバル化を考える

村 田 治

いま、グローバル人材の育成など、日本の大学のグローバル化が急速に進められています。学生や卒業生が世界へ出て行くことが求められ、これ自体は“Mastery for Service”を体現する世界市民を育成する関西学院にとって推進して行かねばならないことです。

初代院長ランバス先生は中国、アフリカ、ヨーロッパなど世界を股にかけ、教育・医療伝道に従事された、文字通り世界市民でした。関西学院は創立時から、キリスト教主義に基づいた国際色豊かな（グローバルな）学び舎として出発しました。

グローバル化は国際化とは違い、ヒト、モノ、おカネだけでなく、企業組織や金融システムなどの制度までもが国境を越えて自由に移動すること意味します。しかしながら、この一連のグローバル化の根底には世界的な大競争（Mega-competition）があることを忘れてはなりません。

グローバル化の要因は、東西の冷戦の終結による東欧、アジア、中南米諸国の世界市場への組み入れとIT革命による世界市場の統合にあります。いわば、世界が一つのマーケットに統合されたことが大きな要因です。このことによって、商品だけでなく、労働力の供給源としての大学教育も世界的な競争に巻き込まれていったのです。この大競争によって、世界での格差が拡大しており、特に、国と国との格差が大きくなっています。

その意味では、ランバス先生が世界中を伝道された時の状態とほとんど変わっておらず、今こそ、“Mastery for Service”を体現する世界市民が求められていると言えるでしょう。

(学長)

---

## 関西学院 歌声のキャンパス

田 淵 結

今年創立125周年を迎える関西学院は、1889（明治22）年に現在の神戸市王子公園のあたりに、ランバス先生に代表される南メソジスト監督教会により関西学院が

創立されました。その学院のキャンパスは、他の一般学校とまったくちがう雰囲気であったことでしょう。キリスト教の主義による教育のなかでチャペルアワー（学校礼拝）は当然のように、学校でも学生寮でも行われていましたから、讃美歌が毎日歌われていました。125年後の今と同じようにどこかで讃美歌の歌声がこだまし、関西学院独自のキャンパスの雰囲気、それは歌声のあふれるキャンパスということなのです。

そして学院創立10年後、ようやく関西学院校歌が発表され、関西学院の歌ができました。カレッジソング“Old Kwansei”が、1900（明治33）年の秋に学院の第五回英語会において初めて「グリークラブ」によって歌われたそうです。歌詞はすべて英語、またこの時が関西学院グリークラブの始まりとも言われています。以後関西学院には讃美歌だけではなく、この校歌、さらにグリークラブによる合唱など、キャンパスにはますます歌声があふれていったことでしょう。

ただこの最初の校歌のことを考えると不思議な感じがします。何よりも創立10年ぐらいいかない学校なのに、なぜ“Old”と歌ったのでしょうか。もちろん10年もたてば懐かしさもそろそろわいてくることと思いますが、それでも「なぜ」と思わされてしまうのです。その一つの理由が、実はこの歌は、関学オリジナルのものではなく、ほとんどの歌詞と曲はアメリカのIVYリーグと呼ばれる名門大学のひとつプリンストン大学のカレッジソング“Old Nassau”の替え歌だったからかもしれません。そのNassauのところをKwanseiと置き換えて自分たちの校歌にした、ということです。プリンストン大学はアメリカ合衆国独立前の1746年に設立された現在アメリカで4番目に古い大学で、Nassau Hallが最初の中心的な校舎、やがてこの校舎がOld Nassauと呼ばれるようになり、100年を超えた1859年にカレッジソングOld Nassau”がうたわれるようになりました。この歌が、はるか遠い日本の神戸の、創立まだ10年目の学校が校歌としたという理由は実はよくわかりません。南メソジスト監督教会とプリンストン大学のつながりも考えにくいのです。今もしこんなことがあると、著作権問題も生じていたことでしょう。

でも関西学院創立10年目の人々が“Old Kwansei”を校歌として原田の地に響かせたときの気持ちを想像してみると、そこにはまだまだ創立間もない小さな学校がやがてプリンストンのような研究と教育の先端を歩む学校として発展することへの希望や期待、そしてのちの後輩たちが関西学院にOldという言葉をつけてなつかしさを覚え、そこに自分たちの人生の大事な一歩が刻まれていくことを願ったのでは、と思えてくるのです。創立10年目の関学生たちには、115年後に自分たちの学院が七つのキャンパスを持ち、2万7千人の生徒、学生が集うようになるなどとは

想像もできなかったでしょう。では現在の私たちは創立10年目に学院で学んでいた先輩たちが、はるかな未来に、そして私たち後輩たちに託した大きな夢や希望というものを想像できるでしょうか。

創立125周年を今年迎えるとき、私たちも関西学院のキャンパスに歌声を響かせながら、古い先輩たちの大きな夢と希望、期待を受け止めたいと思います。

(宗教総主事)

---

## 「感謝」への「感性」

舟 木 讓

「人生の目標について考え、その目標に向かって真摯に努力する」という事はだれも否定できない生き方です。そして、その努力が大きいほど、満足感と充実感も増大します。また、目標に到達できずとも、それまでの経験が無駄にはならないことも事実です。しかしそうした前を向いた歩みの中で心に留めていなければならないこともあります。

125年前、本学はその創立にあたり、「関西学院憲法」を制定し目標を設定しました。その中に本学は「キリスト教の主義に拠って知徳兼備の教育を授ける」という一節があります。ここで「知徳兼備」と訳されている原文は「intellectual and religious culture」です。キリスト教という一つの宗教的理念をそのルーツに持て歩んでいる関西学院が、これまで何を大切にしてきたのかがここに集約されています。宗教的な営みが大切にしてきたものは、この世の存在の相対化といっても過言ではないでしょう。表面的な「事実」に安易にレッテルを貼ることを戒め、表面に表れない「真実」を追求し続ける姿勢こそが、学問にも人生にも不可欠なことでもあります。

中でも、今ここにある「私」がいかにか多くの人々や存在に支えられてあるかという端的な事実気づき、その事に感謝することができる「感性」を持ち続けたいとき、人は自らが神の位置に立ったかのような主客転倒した人生へと転落すると言えましょう。ここまでの歩みを支えられてきたことへの「感謝」から新たな一步を共に踏み出しましょう。

(大学宗教主事)

# 風、光、力

小 菅 正 伸

校歌「空の翼」は数少ない私の好きな歌の1つである。これまでにこの歌を何回歌ったことであろうか。なかでも「風、光、力、若きは力ぞ」という部分が特に気に入っている。

初めてこの歌を歌ったのは今から46年前、私が中学部に入学した時である。それ以来、関学に関係する行事があるときは必ずこの歌を歌ってきた。学内行事は言うに及ばず、学外でも同窓の集まりや学生スポーツの試合など、大声を出してこの歌を歌った経験は、その回数を数え上げるときりが無い。

関西学院に集い、そこで学ぶ学生・生徒・児童には、「風」のように爽やかであって欲しいし、「世の光」として行動する人であって欲しい。またそれと同時に、何よりも「力強く」あって欲しい。この歌を歌うとき、つねにこのことを願っている。学生諸君に対してそうであることを期待し、自分もそうでありたいと想っている。

スヌーピーの次の台詞のように、今では「空の翼」は私に元気を与えてくれる応援歌になっている。

“Sometimes it's only a little thing that gives us hope ... A smile from a friend, or a song, or the sight of a bird soaring high above the trees.” (PEANUTS, May 17, 1971)

昨今、次世代を担う人材として「世界を舞台に活躍できる人」や「経済社会の発展を牽引するグローバル人材」が盛んに議論されているけれども、時代の要請がどのように変わろうとも、関西学院は「変えるべきは変えるが、守るべきは守る」必要がある。変わりゆく時代のなかで「空の翼」が今後も変わることなく歌い続けられることを願っている。

(副学長・商学部教授)

## ●関学レインボーウィーク「もっとカラフルな関学に！」のご案内

開催期間：5月12日(月)～16日(金)

### 映画上映

『Call Me Kuchu ウガンダで、生きる』(2012: 米国・ウガンダ)

監督: Katherine Fairfax Wright, Malika Zouhali-Worrall

日時: 5月12日(月)15:10 関西学院大学図書館ホール(大学図書館地下1階)

### パネル展示

・KG RAINBOW PROJECT ～教員・職員・卒業生からのメッセージをあつめました～

・「いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン」パネル展

(<http://ameblo.jp/respectwhiteribbon/entry-11440462193.html>)

期間: 5月12日(月)～16日(金) 関西学院大学図書館エントランス

### パネルセッションと座談会

「第2回 関学の中のセクシュアルマイノリティ～一人一人の立場でできること～」

日時: 5月15日(木) 関西学院会館「光の間」

15:10 パネルセッション

16:50 座談会

＜一般公開・参加無料 手話通訳による情報保障を予定＞

主催・お問い合わせ: 関西学院大学人権教育研究室 電話: 0798-54-6720

## ●チャペル・オルガニスト募集

関西学院では毎年チャペル・オルガニストを募集しており、5月31日(土)にオーディションを行います。採用されますと個人レッスンを受けることができ、チャペルの演奏をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身に付けることができます。

応募方法: 「募集要項」「応募用紙」を宗教センター(吉岡記念館1階)、神戸三田キャンパス事務室(アカデミックコモンズ1階)で受け取り、内容を記入した「応募用紙」はその事務室に提出してください。また、電子メールの添付ファイルでも受付けます。

「募集要項」「応募用紙」がHPからダウンロードできます。

関西学院大学→宗教センター→ニュース

教学 Web サービス: お知らせ→その他

応募期限: 5月29日(木)16:50

お問い合わせ・資料請求: 吉岡記念館事務室宗教センター

電話: 0798-54-6018、E-mail: organist@kwansei.ac.jp

## ●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。5月に入ると、関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

5月14日(水) 関西学院交響楽団弦楽アンサンブル

5月19日(月) 関西学院大学混声合唱団エゴラド

5月21日(水) 関西学院交響楽団管楽アンサンブル

5月28日(水) 関西学院バロックアンサンブル

6月2日(月) 関西学院大学応援団総部吹奏楽部

6月4日(水) 関西学院ハンドベルクワイア

6月9日(月) 関西学院聖歌隊

6月11日(水) 関西学院ゴスペルクワイア Power Of Voice

いずれも12時50分～13時20分

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催: 宗教センター・宗教音楽委員会

## ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを実施します。(18:00～18:20 1405教室)

主題: 「建学の理念」

メッセージ:

5月15日(木) 舟 木 讓 (大学宗教主事)

5月22日(木) Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)

5月29日(木) 舟 木 讓 (大学宗教主事)